

外航日本人船員（海技者）確保・育成スキーム

－ 5 期生の出帆式を開催 －

国土交通省、全日本海員組合、国際船員労務協会および当協会で構成する「外航日本人船員（海技者）確保・育成推進協議会（事務局：（財）日本船員福利雇用促進センター（SECOJ）」が実施する「外航日本人船員（海技者）確保・育成スキーム」第 5 期生の出帆式（スキームへの入会式）が、2011 年 10 月 3 日、兵庫県芦屋市の（独）海技教育機構 海技大学校で開催された。

このスキームは、船員教育機関の卒業生を対象に、即戦力として活躍できる船員（海技者）へキャリア形成を図ることを目的として、官労使協力の下、2007 年 4 月より実施されているものである。

出帆式では、スキームの関係者および海技大学校教職員が見守る中、5 期生 14 名の点呼があった後、国土交通省海事局の河村海事人材政策課長、国際船員労務協会の井上常務理事、全日本海員組合の森田国際局長（同組合の木下氏が代読）および当協会五十嵐副会長より、それぞれ式辞が述べられた。

五十嵐副会長からは、5 期生に対して、何事にも受身ではなく積極的に自己研鑽に励み、上級海技資格の早期取得および英語能力の向上に努め、自らの商品価値を高めることにより、就職に繋げてもらいたい旨、述べた。

これに対して、5 期生代表者からは、「本スキームを通じて知識・技量を高め、外航海運の明日を築いていく一員になりたい」と力強い宣誓の言葉が述べられた。

5 期生は今後、海技大学校において 2 ヶ月間の導入座学研修を行った後、わが国外航船社が運航する船舶で乗船研修を行い、キャリア形成を図っていく。



点呼を受ける 5 期生



五十嵐副会長の式辞

上記スキームの詳細につきましては以下 SECOJ のサイトをご参照下さい。

<http://www.secoj.com/log/eid70.html>